



沖縄を孤立させるな！ 理不尽な政府の職権乱用



政府の身内に救済を求めるとか、差し止めの差し止めなどという屁理屈での職権乱用。沖縄県と安倍内閣との闘いが熾烈です。政府はここでも憲法を踏みものにじり、地方自治法を勝手に解釈して、沖縄県の訴えを退けようとしています。いよいよ法廷闘争となり、翁長知事の県民の叫びを代弁する法廷での訴えが心を打ちました。

法廷闘争は裁判官の良心に訴えるということになりますが、単に裁判官の資質に期待するのではなく、裁判を世論の盛り上がりでサポートする必要があります。法の運用というのは決して条文の厳密な解釈のみで行われるわけではありません。社会の様々な変化の中で国民の考え方も変わります。そうした動きの中で社会を安定的に運営していくことは司法の大切な役割です。国民の圧倒的な声を無視することはできません。圧倒的世論を法廷に！

戦争法廃止へ



2000万署名始まる

- ◆署名が始まっています。九条の会でも署名用紙を配布しています。増し刷りは大歓迎です。ダウンロードは総がかり行動実行委員会のウェブサイト (<http://sogakari.com>) からできます。
- ◆ポスターなど署名推進のためのグッズも用意。
- ◆インターネットからも署名できます！

<http://goo.gl/Kx8nY2>

なお、ネット署名は、制度上総理大臣あてのみ有効ですので、官邸提出分として取り扱います。

総がかり行動 12.15(火)夕方を中心に各地で
自衛隊を戦場へ送るな！総がかり講演集会
12月19日(土) 14時～北とびあ・さくらホール

用紙と集約

署名用紙が必要な方はご連絡ください。
また、署名が集まったらお知らせいただければ受け取りに伺います。
世話人などにご連絡ください。郵送でも構いません。

270-0111 江戸川台東3-65-15 石林紀四郎

沖縄「島ぐるみ会議」訪米

普天間飛行場の移設に伴う名護市辺野古への新基地建設計画反対を訴えるため、沖縄の「島ぐるみ会議」は訪米団を組み、米国で各方面に訴えた。「建白書」を実現し未来を拓(ひら)く島ぐるみ会議の呉屋守将共同代表(金秀グループ会長)らは11月20日、「米労働総同盟産別会議(AFL-CIO)(組合員1250万人、米国最大の労働組合)」を訪ね、米軍普天間飛行場の県外・国外移設に向けた協力を求めた。キャッシー・ファインゴールド国際部長は「平和への闘いを広めていきたい」と述べ、協力を表明した。AFL-CIOはオバマ米大統領の支持母体でもある。



会談で呉屋共同代表は、日米両政府が県民の民意に反して辺野古移設を強行していると指摘した上で「沖縄は平和、民主主義の危機にひんしている」と述べ、協力を呼び掛けた。ファインゴールド氏は「私たちは基地関連と反核運動に重点を置いて」と説明。2～3千人の組合員で構成するAFL-CIO傘下のアジア太平洋系アメリカ人労働者連合(APALA)が15日に新基地建設に反対し、沖縄県民と連帯する決議をしたことを踏まえ「連帯することが大事だということが分かった。APALAと共同して、闘いを広めていきたい」と述べた。訪米団はAFL-CIO幹部との会談のほか、ホワイトハウス前での抗議集会や連邦議員スタッフと面談した。訪米日程終了後、ワシントンで記者会見した呉屋共同代表は、連邦議員への理解促進をはじめ米国での活動を強化していく意向を示した。

平和の島沖縄がまた戦の先頭に 自衛隊を石垣島に配備

政府は11月26日沖縄県石垣市の中山義隆市長に500～600人の自衛隊を配備すると伝え、協力要請をしました。配備するのはミサイル部隊と警備で、隊舎や射撃場、火薬庫などが作られる予定といわれています。

政府は中国の海洋進出の動きを口実に、米軍基地の強化とともに無人島を含めて防衛体制を固めるとして、奄美大島や沖縄の宮古島、与那国島など南方の島への自衛隊配備を強化しています。これらの地域を本土防衛の捨て石にした過去を繰り返してはなりません。

